

株主通信 vol.38

RYOWA REPORT

第70期 業績のご報告

2018年4月1日～2019年3月31日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ 特集：テクノ菱和R&Dセンター
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況

空 気 と 水 の テ ク ノ ロ ジ ー





株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第70期(2018年4月1日から2019年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。
環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。
人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬
意志疎通の徹底
技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境はいかがでしたか？

A 当期の国内経済は、米国の保護主義政策や米中通商摩擦に起因する先行きの不透明感から、輸出の減速や株式市場の調整色が強まるなど懸念材料も見られますが、企業収益や雇用環境の改善を背景に設備投資の増加や個人消費の持ち直しの動きが見られ、内需主導による緩やかな景気回復が続きました。
建設業界におきましては、慢性的な人手不足への対応や資機材価格の上昇基調により、引き続きコスト上昇圧力にさらされているものの、国内の景気動向が緩やかな回復基調にあることから、企業の設備投資は堅調に推移しており、良好な受注環境を維持いたしました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの連結業績は受注高67,149百万円、売上高67,391百万円、営業利益4,518百万円、経常利益4,857百万円、当期純利益3,041百万円となりました。

当期は中期3か年事業計画の基本方針に基づき、医薬品関連・食品をはじめとする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに働き方改革の推進やIoT技術の積極的な活用など企業競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、産業設備工事においては、特にデバイス関連分野での受注が好調に推移し、一般ビル設備工事においても、公共工事を中心に大型工事の受注を確保できたことから、前期を上回る受注量となりました。収益につきましても前期から繰り越した工事が順調に進捗し、工事粗利益率も改善したことから増収増益となりました。

	当期 (百万円)	前期 (百万円)
受 注 高	67,149	62,778
売 上 高	67,391	60,654
営 業 利 益	4,518	3,242
経 常 利 益	4,857	3,425
当 期 純 利 益	3,041	2,306

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。



Q 来期の方針を教えてください。

A 来期につきましても、引き続き中期3か年事業計画に示した基本方針を軸として、規模の拡大に拘わらず医薬品関連・食品をはじめとする産業設備工事の受注確保を推進し景気動向に左右されない事業基盤の確保に努めてまいります。

本年5月には元号が「令和」に改められ、わが国も新しい時代を迎えることになりました。当社は70周年を迎えるにあたり、創立より70年間培ってきた実績と経験を抛り所として、急激な経営環境の変化にも対応する力を備え、新たな元号とともに、新しい菱和の時代を切り開くという意味を含め「70年の実績と経験を礎に、新しい時代の菱和を創ろう」を来期のスローガンに掲げました。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、米中通商摩擦等に起因する国内外の景気動向により、輸出産業を中心として企業収益の鈍化が見込まれております。また、雇用所得環境は緩やかな回復基調を維持するものの、本年10月に予定されている消費税率引き上げに伴い個人消費への影響も懸念されることから、景気は踊り場を迎えることが予想されます。

建設業界におきましては、技術者・技能者不足が深刻な懸念材料となっており、加えて中国経済の減速などを背景に製造業において設備投資を抑制する動きも見られ、予断を許さない状況が続くことが予想されます。

このような状況を踏まえ、来期の連結業績見通しにつきましては受注高60,000百万円、売上高63,000百万円、営業利益2,820百万円、経常利益3,010百万円、当期純利益1,930百万円を見込んでおります。

	来期予想 (百万円)
受注高	60,000
売上高	63,000
営業利益	2,820
経常利益	3,010
当期純利益	1,930

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社といたしましては、今後も引き続き産業設備工事を中心とした受注の確保を目指すとともに、喫緊の課題である働き方改革への対応につきましても従業員の就業環境の整備を積極的に推進することで、生産性の向上と企業競争力の強化に取り組んでまいります。

当期の期末配当金につきましては、1株につき11円とし、年間では前期と同額となる1株につき22円とさせていただきます。

なお、当社は本年12月に創立70周年を迎えることから、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝の意を表すため、年間2円の創立70周年記念配当を実施いたします。これにより来期の配当金につきましては、年間普通配当1株につき22円と合わせ、1株につき24円とすることを予定しております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

株式会社三菱UFJ銀行大阪ビル



本物件は、大阪市のメインストリートである御堂筋に新築された事務所ビルです。空調方式にターボ冷凍機・空冷ヒートポンプチャラー・吸収式冷温水機を採用し、電気・ガス両方式を用いることで、インフラ断絶等の有事のリスク分散を図っています。また、今後発生が予想される東南海・南海地震等による津波を想定し、機械室を中間階に設けるなど、信頼性・安全性の高い設備となっております。

概要	
完成年月	2018年5月
施工地	大阪府大阪市
建物用途	金融機関事務所ビル
延床面積	本館48,635.98㎡ 別館29,689.92㎡
物件形態	本館地下3階・地上21階 別館地下3階地上18階
工事範囲	空調設備工事

THK株式会社山形工場増築棟



本物件は、さまざまな業種の生産ラインで自動化に必要とされる直動案内機器(LMガイド)やボールねじ、アクチュエーターの増産を目的として同社山形工場敷地内に新たに増築された工場であります。空調設備としては、ターボ冷凍機およびガス焚真空ヒーターを採用しております。工場エリア内は外気冷房に対応しており、春、秋の中間期や冬期では冷凍機の代わりに外気を冷熱源として利用することで、省エネルギー化を図っております。

概要	
完成年月	2019年3月
施工地	山形県東根市
建物用途	工場
延床面積	32,968.72㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

あゆみ製薬株式会社瀬戸工場



本物件は、医薬品製造過程における化学物質の封じ込め、交叉汚染防止等に配慮した高薬理活性医薬品^(※)の製造基準をクリアする施設となっております。製造エリアの清浄度を確保することに加え、化学物質の封じ込め対策として微差圧制御による厳密な室圧管理を行い、製造環境の維持と安全性の確保を図っております。

※高薬理活性医薬品:抗がん剤など高い薬効を持つ医薬品。

概要	
完成年月	2018年12月
施工地	愛知県瀬戸市
建物用途	医薬品製剤工場
延床面積	2,013.20㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調・衛生設備工事

三菱ふそうトラック・バス株式会社プロダクトセンター



本物件は、神奈川県川崎地区に点在していた同社の本社・研究開発・デザイン拠点を集約し業務の効率化を図るとともに、就業環境の改善を目的として建設された新社屋・研究施設であります。空調方式は全熱交換器組込外調機+パッケージエアコン方式を採用しており、熱源については、同敷地内の既存設備から供給された冷温水を利用しております。冷温水の流量・圧力・温度などを測定し、エネルギーセンターで監視・制御することで敷地全体の省エネルギー化を図っております。

概要	
施工年月	2018年12月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	事務所・研究所
延床面積	11,682.41㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

特集 テクノ菱和R&Dセンター

当社の新たな研究開発施設である「テクノ菱和R&Dセンター」が2018年9月に完成いたしました。

当施設は、中長期経営ビジョン2023で掲げた「当社で培った特色のある技術を駆使した事業展開を目指す」という基本方針に則り、環境エンジニアリングに関する要素技術を研究・開発・実証できる設備を目指しております。

今回は、当施設の研究開発エリアである「デモ検証エリア」と「化学実験室」についてご紹介いたします。



施設概要

所在地	神奈川県横浜市
構造等	S造3階建て
延床面積	2,397.40㎡
施設概要	技術開発研究所・横浜支店

多目的クリーンルームが完成いたしました!

当施設のデモ検証エリアに多目的クリーンルームを設置しました。このクリーンルームは医薬品製造施設や化学合成室に関する各種実験や研究開発を行うことができる設備となっています。

クリーンルームはクラス7相当の清浄度を保つ3室から構成されており、それぞれに当社が開発した製品のデモシステムを備えています。多室間の差圧制御や無菌対応など、さまざまな条件での実験・検証を行えるほか、今後は施工業者や社員向けの教育施設としても活用いたします。



クリーンルーム仕様

RoomAおよびRoomB

- 清浄度 クラス7相当
- 床面積 24㎡ (天井高3.5m)
- デモ用システム
 - REAFS (ドラフトチャンバー省エネシステム)
 - TecBEAMS (高機能設備管理システム)

RoomC

- 清浄度 クラス7相当
- 床面積 12㎡ (天井高2.5m)
- デモ用システム
 - HALiscANNER (HEPAフィルター自動リク検査・管理システム)
 - FOTRAM (ホルムアルデヒド常温分解装置)
 - 過酸化水素殺菌対応空調システム
 - 残留ホルムアルデヒド対策システム

主な研究開発設備

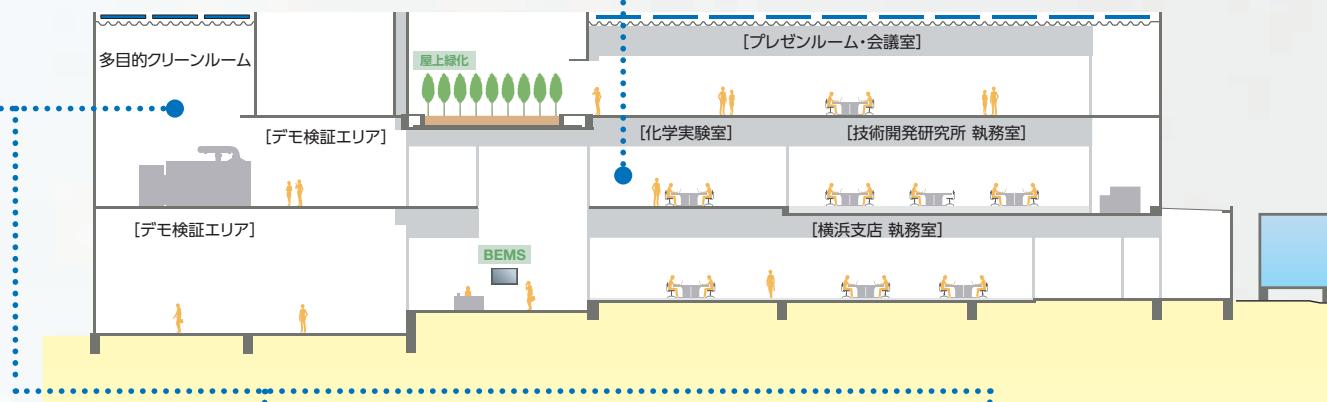


化学実験室について

化学実験室では、気体や液体中の微量成分の分析や、微小物質の拡大観察を行うための各種分析機器を取り揃えています。研究開発に関わる実験のみならず、さまざまな環境下で発生する事象の原因究明にも取り組んでいます。

【化学実験室の設備(一部)】

- ガスクロマトグラフ質量分析装置
- イオンクロマトグラフ
- エネルギー分散型X線分光器
- 走査電子顕微鏡
- フーリエ変換赤外分光光度計



● REAFS

ドラフトチャンバーの排気の変化に合わせて室内への給気を制御し、室圧を一定に保つことで空調エネルギーを大幅に削減するシステムです。



● HALiscANNER

当製品は、医薬品製造施設向けに開発したHEPAフィルターの性能を検証および管理するシステムです。設備メンテナンス業務をトータルサポートする「VM-Scorp」との連携を図り、バリデーション作業の効率化に取り組んでいます。



受注高 67,149 百万円 < 前期比 7.0%増 >	売上高 67,391 百万円 < 前期比 11.1%増 >	経常利益 4,857 百万円 < 前期比 41.8%増 >	当期純利益 3,041 百万円 < 前期比 31.9%増 >
---	--	--	---

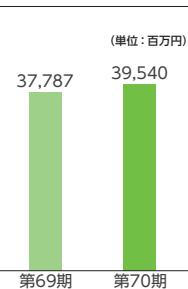
受注高構成比

(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

58.9% 39,540百万円

当期は、特にデバイス関連分野での受注が好調に推移し、前年を上回る受注量を確保いたしました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.2% 2,165百万円

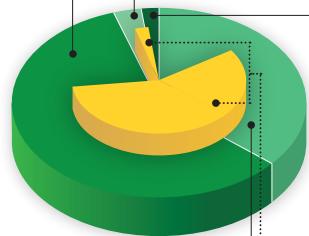
連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

1.7% 1,104百万円

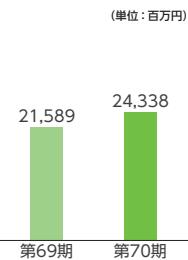
設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。



一般ビル設備工事

36.2% 24,338百万円

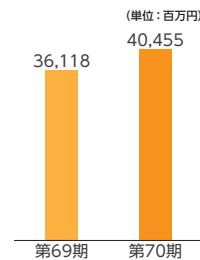
当期は、医療施設や教育施設をはじめとする官公庁工事を中心に受注が堅調に推移し、前年を上回る受注量となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し受注量の確保に努めてまいります。



設備改善工事

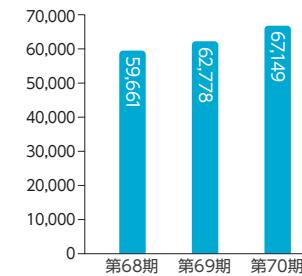
60.2% 40,455百万円

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



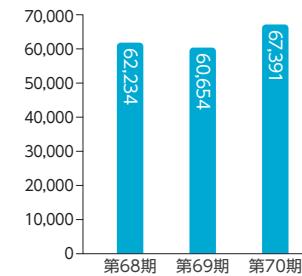
受注高の推移

(単位: 百万円)



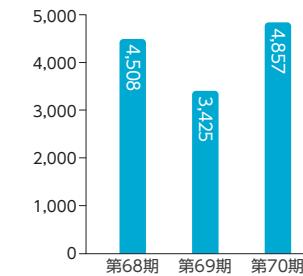
売上高の推移

(単位: 百万円)



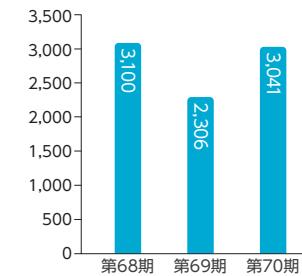
経常利益の推移

(単位: 百万円)



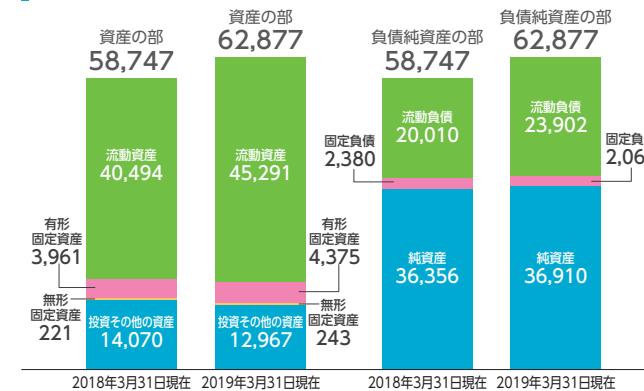
当期純利益の推移

(単位: 百万円)



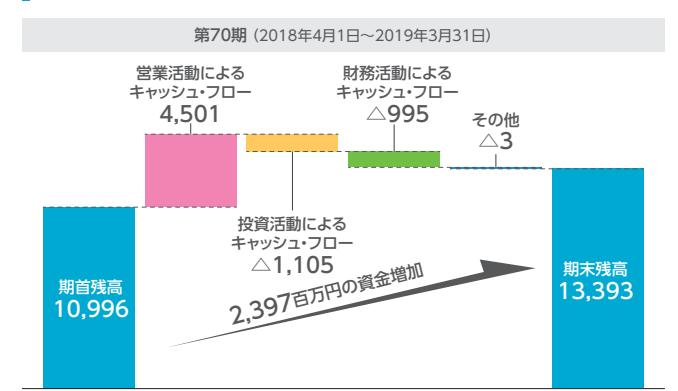
貸借対照表の概要

(単位: 百万円)



キャッシュ・フローのポイント

(単位: 百万円)



財務のポイント

資産の部

流動資産における現金及び預金の増加24億円、電子記録債権の増加27億円、固定資産における建物・構築物の増加10億円、投資有価証券の減少9億円を主な変動要因として、前期末と比較して41億円増加し628億円となりました。

負債の部

流動負債における支払手形・工事未払金等の増加11億円、電子記録債務の増加8億円、固定負債における繰延税金負債の減少4億円を主な変動要因として、前期末と比較して35億円増加し259億円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加25億円、その他有価証券評価差額金の減少8億円、自己株式取得による減少6億円を主な変動要因として、前期末から5億円増加し369億円となり、自己資本比率は前期末と比較して、3.2ポイント低下し58.7%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上による資金増加46億円、仕入債務の増加による資金増加19億円、売上債権の増加による資金減少24億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して23億円増加し133億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 1949年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 719名 (連結830名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理事業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市) 名古屋支店(愛知県名古屋市)

東京本店(東京都豊島区) 静岡支店(静岡県静岡市)

千葉支店(千葉県千葉市) 大阪支店(大阪府大阪市)

茨城支店(茨城県土浦市) 中国支店(岡山県倉敷市)

北関東支店(埼玉県さいたま市) 九州支店(福岡県福岡市)

東北支店(宮城県仙台市) 海外事業部(東京都豊島区)

横浜支店(神奈川県横浜市)

役員 (2019年6月26日現在)

取締役

代表取締役 黒田 英彦

取締役 飯田 亮輔

取締役 鈴木 孝雄

取締役 根岸 孝雄

取締役 星野 宏一

取締役 武田 公温

取締役(社外) 雑賀 純二

取締役常勤監査等委員 小栗 章雄

取締役監査等委員(社外) 本間 正広

執行役員

社長執行役員 黒田 英彦

専務執行役員 飯田 亮輔

常務執行役員 鈴木 孝雄

常務執行役員 星野 宏一

常務執行役員 根岸 孝雄

上席執行役員 黒田 長憲

上席執行役員 窪 和敏

上席執行役員 加藤 雅也

上席執行役員 福士 富三

上席執行役員 大石 勉

執行役員 永崎 公幹

執行役員 鈴木 俊夫

執行役員 袴田 一博

執行役員 齋藤 吉信

執行役員 伊豆丸 暢

執行役員 富山 潤也

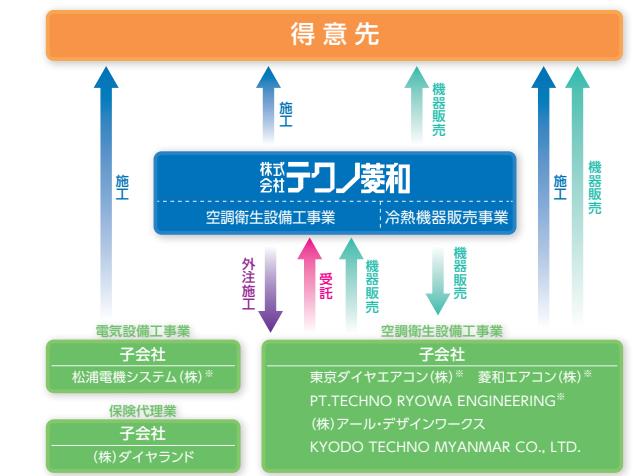
企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* 株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区 所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社* 株式会社ダイヤモンド
所在地 愛知県名古屋市 所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 保険代理業

松浦電機システム株式会社* KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.
所在地 大阪府守口市 所在地 ミャンマー連邦共和国
主要な事業の内容 電気設備工事業 主要な事業の内容 建設資材製造販売業

PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING*
所在地 インドネシア共和国
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株

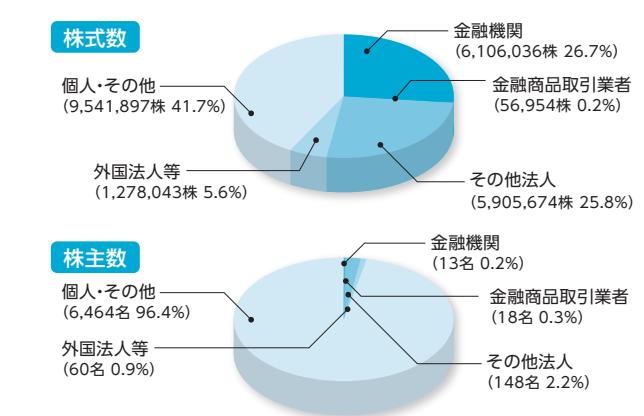
当期末現在の株主総数 6,703名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,142	9.6
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.4
株式会社三菱UFJ銀行	1,123	5.0
株式会社みずほ銀行	1,111	5.0
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.0
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.2
テクノ菱和従業員持株会	679	3.0
近重 次郎	672	3.0

※当社は、自己株式737,524株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	https://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸手続き お問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

